

男女がともに 輝くために

共に輝くみほの会
—美浦村女性行政推進協議会—

問合せ 企画財政課
☎029-885-0340(内)209

誰もが今を ちゃんと生きられる — 平和 —

菅原のり子

「戦争がないことだけが平和ではない。貧困や差別といった構造的・精神的暴力のない社会が平和といえる。そして自分の命をかけたがえのないものだと感じるものが平和の基礎になる」。昨年12月に開催された「平和のつどい」講演会での落合恵子さんの言葉です。

戦後76年間続いてきた日本の平和は幾多の犠牲の上に成り立っていること、戦争があった時代を振り返ることの大切さを改めて感じるとともに、平和な社会の根底となるのは、

今を生きる一人ひとりが、尊重し尊重されることなのだと思えさせられました。

冬休み明け、私が勤務する小学校の集会で学校長が「一大事とは、本日只今のこと。今が一番大事、今日只今をしっかりと生きること。」と話されました。奇しくも、落合恵子さんが講演の中で「今をちゃんと生きられる自分でありたい。」と仰ったことと重なりました。

教育目標の「自分が大好き、みんな大好き」は、子どもたちの心に平和を築く言葉です。全校児童をオンラインで繋ぐ「いじめストップ！絆づくり集会」で、やさしさや思いやり、手をさしのべる行動など、児童が自分と違う部分や多様性を受け入れ、人に寄り添う心を育む絆づくりが行われています。

子どもたちにとって最初、「学ぶ」ことは「真似ぶ」ことです。そこから社会での実践が始まります。子どもたちが、身近な社会である家庭や学校

で、誰もが自分らしく今を生きられることが本当の幸せ、本当の平和なのだと思えると、今後の平和な社会の持続につながると思います。世界の平和も、一人ひとりを大事にすることや一人ひとりの心の平和から始まり、家庭、学校、職場、地域社会、国家というように、人と人、国と国が尊重し合い、信頼で結ばれることで実現するのではないのでしょうか。

私自身、これまで沢山の先祖が命を繋いでくれて今の自分があるということ。生かされている命の重さを感じずにはいられません。平和な社会とは、年齢・性別・立場・環境に関わらず、全てのおかげがない命を尊重し、今日を自分らしくしっかりと生きられる社会です。

個性を尊重し合い、皆が生きやすい社会の実現にむけて、私も子どもたちの支援を通じて今をちゃんと生きていきたいと思えます。



みほ文芸

正調俚謡 日和吟社 折句「は…(こ)…い…た」(病句禁)

初日挿んで子供の幸を祈る折り紙宝船

春の大島五弁の椿今が見頃か旅心

二十歳祝賀の豪華なティアアラ今は借ります国民のため

母の口癖心にひびく生きるお手本宝物

初春を迎えて今年も元氣生きる喜び楽し日々

母の墓前に御馳走供え祈り捧げる手向膳

羽生結弦のこだわり演技いまだ挑戦頼もしい

母の言葉に心が和むいつも優しく頼もしい

初日挿んでご馳走食べて粋な賀状に高笑い

初春を迎えて今年の思い一に俚謡詠みたゆみなく

花をあげよう凍える君に命咲かせる種をまく

初春の風うけ今年絵馬に今にみておれ高い夢

はしご深酒ごくごく飲んだ今は健康たのし酒

春の七草ごちそうづめの胃にはやさしくいたい切よ

はしゃぐ孫たちこけてる仕草いつも嫁殿高笑い

腹がへつたらコンビニ二今日もいいねきまは楽しいな

母のマスクを児は嫌がりて云えぬ辛さに体当たり

春の息吹をこっそり愛でるいつも神様太鼓判

初日に祈る頭まともに命長らう高望み

箱根駅伝心の歓喜いつも家族で楽しむよ

二月の俳句(題 当季雑詠)

朝の日に煌めく木々や垂り雪

絵手紙の椿の赤は生きるいろ

病みたれど三色の朝餉外は雪

何も無い無が一杯雪見酒

寒風や稜線くつきり遠筑波

冬化粧口紅のごと藪椿

春浅くぴちぴち魚の届けられ

マスク声コロナの闇へ豆を打つ

バレンタイン義理チョコよと頼染めし

一変の雲なき朝の凍て敵し

織り姫になれぬ無器用冬ごもり

諭す師も生徒も涙卒業す

どんと焼き炎は神を大空へ



- 田島草実
- 高橋一步
- 山崎美子
- 沼寄朋香
- 伊藤葉子
- 小藪江久美
- 門脇悠美
- 篠原美千代
- 石戸律華
- 山岡亜子
- 増尾青蓮
- 塚本夏雲
- 関根秀子
- 木村幸子
- 上野八千代
- 山崎泰弘
- 酒川夢花
- 井戸賀蘇道
- 長谷川悦子
- 山岸錦洋
- (五十音順)
- 青野安佐子
- 石毛恵美子
- 市川紀行
- 海道民子
- 木澤はしめ
- 小林美佐恵
- 高柳幸子
- 田島早苗
- 中島輝子
- 長田敏笑
- 増尾尚子
- 松本秀子
- 山口美代子